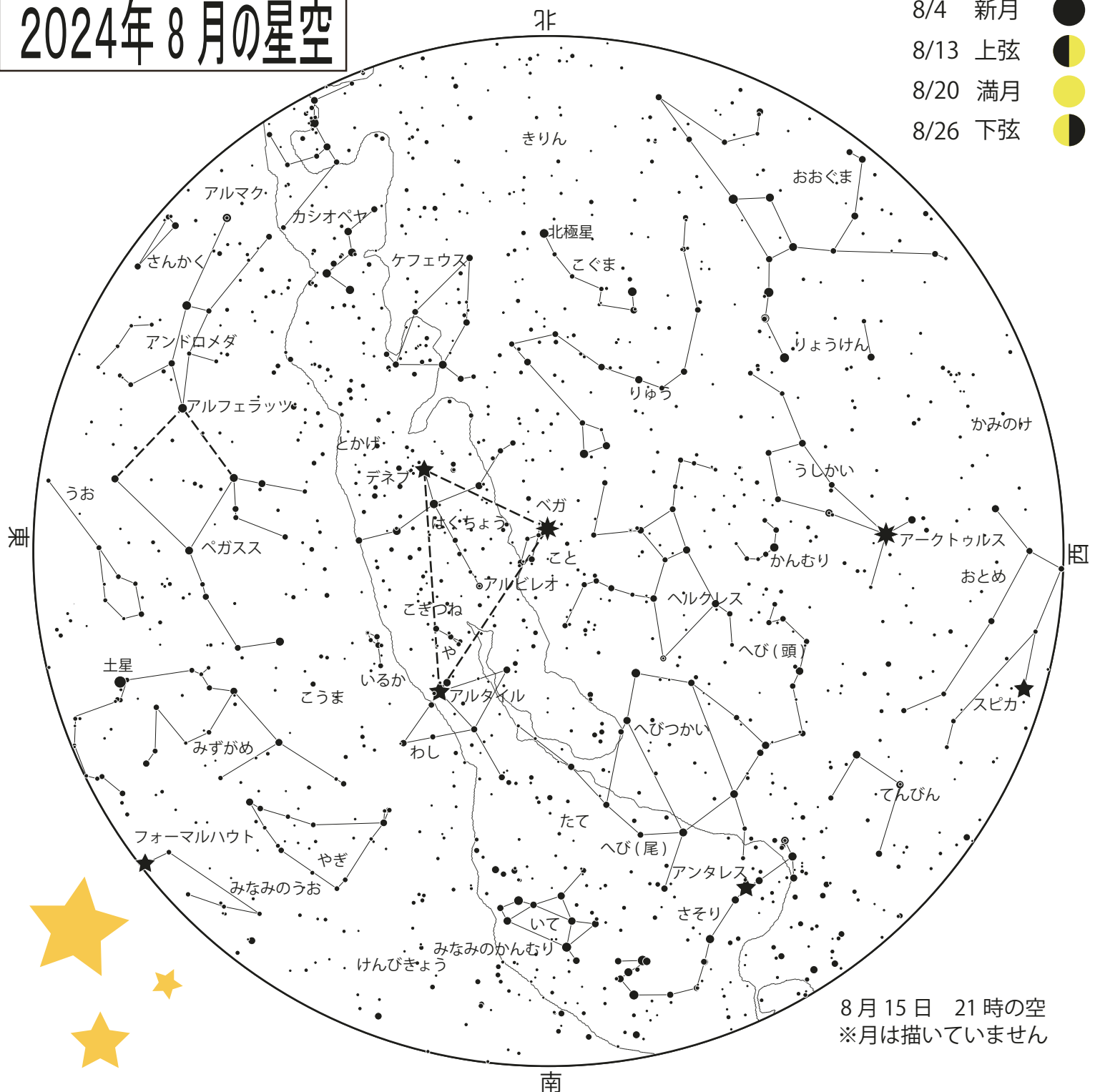


姫路で見る 2024年8月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

8/4 新月 
8/13 上弦 
8/20 満月 
8/26 下弦 



梅雨が明けて、本格的な夏がやってきました。昼間の空には入道雲がそびえ、夜空はすっかり夏の星座に模様替えしています。

東の空の高いところに、**こと座のベガ**、**わし座のアルタイル**、**はくちょう座のデネブ**をつないでできる**夏の大きな三角**が見えています。明るい一等星ばかりでできていて、空の高いところまで昇るので、よく目立ちます。この時期は、夜のはじめの頃から明け方まで一晩中見えているので、まさに夏のシンボルと言えるでしょう。南の空の低いところでは、**いて座**が**さそり座**を弓矢で狙っています。サソリが暴れて毒針を振り回さないよう、見張っているかのようです。**いて座**には**ティーポット**と呼ばれる星の並びがあって、その注ぎ口から湯気が出て、天の川につながっているように見えます。

夏の盛りの8月でも、夜中を過ぎると、東の空からは冬の星座が顔をのぞかせます。**おうし座**の2本の角の間で、**木星**と**火星**がすぐ傍で輝いています。最接近する8月15日の未明には、満月の半分近い0.3°まで近づいて、その後は少しずつ離れていきますが、8月の間は2つの惑星の競演が東の空で見られそうです。